

会 議 録

会議の名称	令和3年度第3回日向市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和3年11月22日（月） 13時25分から14時42分まで
開催場所	日向市役所4階 第1～3委員会室
出席者	出席委員：14人 多田委員、木村委員、足立委員、三浦委員、河野委員、稲尾委員、 廣島委員、吉田委員、藤井委員、黒木委員、下田委員、釘宮委員、 原田委員、河埜委員 事務局：3人
議 題	「第6向日向市男女共同参画プラン（案）」について
会議資料の名称 及び内容	第6向日向市男女共同参画プラン（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>■開会</p> <p>■会長あいさつ</p> <p>■第6向日向市男女共同参画プラン（案）について</p> <p>事務局から、配布資料に沿って、現在策定中の第6次男女共同参画プラン（案）について中間報告を行った。</p> <p><意見></p> <p>○委員</p> <p>人口動向形態には旧東郷町の人口も含むのか。また、数値目標に、男性教職員の配偶者出産休暇の部分があるが、5次プランでは市職員の数値だったと思う。変更したのか。</p> <p>○事務局</p> <p>人口には旧東郷町の人口も含んでいる。数値目標の男性教職員の配偶者出産休暇の部分は新規で盛り込んだ。市職員についても継続して取り組むこととしている。</p> <p>○委員</p> <p>推進体制の強化の部分、相談業務は市の直営で行っているの、表現を工夫してはどうか。また、推進体制の図の中の表現もそれに合わせて修正したほうが良いのではないか。</p> <p>さんぴあが「多様性を尊重した施設としての機能充実」ということになっているが、トイレの問題も含め、ジェンダーフリー施設になっていないので、今後の課題としたいと考える。</p> <p>人権教育の推進に関して、公民館等における学習についてもきちんと位置付けてほしいので、</p>	

生涯学習課を入れてはどうか。

男女共同参画の視点に立った教育・進路指導の実施の部分は、学校だけではなく企業の部分も幅広く入れてはどうか。固定的な性別役割分担意識が職場内において行われている可能性も強調したほうが良いと思う。また、男女共同参画概念を深める研修の実施についても、企業対象の部分を入れてはどうか。

SOGI 概念の普及については、担当課・関係課に学校教育課と生涯学習課を入れるとよいのではないかと。

仕事と家庭を両立しやすい労働環境の整備では、労働環境の整備の啓発とあわせて、男女共同参画プランの啓発も入れたほうが良いのではないかと。

○事務局

さんぴあ相談室と推進ルームとの関係は、市が仕様書に基づいて事業を委託しているため、契約内容と合った形で整理したい。さんぴあ側との事業認識の違いがあるといけないし、齟齬を整理しながら反映させたいので、時間をいただきたい。

事業の担当課については、所管課と調整をしたうえで、掲載するかどうかを決定したい。企業向けについては、別の部分に記載があるとおりに進めたい。

○委員

男女共同参画の視点に立った教育・進路指導の実施の部分にジェンダー平等教育などの積極的な文言を入れてほしい。

○事務局

所管課と調整をしたうえで、掲載するかどうかを決定したい。

○委員

多様な性の在り方の尊重の部分で、相談業務に関しては専門的な学びがないと難しい部分だと思ふ。関係課や県とも連携し、相談窓口を紹介できるようなところを具体的に作ってほしい。

○事務局

県の情報もいただきながら研究したい。

○委員

ジェンダーフリーのトイレを作っても、そこに行く人はほかの人に見られる。「皆が使っている」という状況になれば問題ないと思うが、全体がそのようになるかどうかは疑問。いい方法はないだろうか。

○委員

当事者用のトイレは作ってはいけないと思う。多目的トイレが一つだと使いづらい。誰でも使えるトイレが複数個あるのがよいと聞くことがある。まずはすべてのトイレを洋式化することから始めてはどうか。

また、女子トイレにはトイレトペーパーがあるように生理用品が置いてあるようにしてほしい。県が県立高校にはそういった方針を出しているため、ぜひ本市でも取り組んでほしい。さらに、性教育に関しても男女別ではなく、学校教育課と連携して取り組んでほしい。

○事務局

市庁舎を建設するときも、障がい者団体ほか、様々な団体のご意見をいただいてトイレを作った。佐賀県では「みんなのトイレ」を推奨しているが、本市では1階のトイレには、車椅子のピクトグラム、オストメイトの方のシール、人をかかえるしぐさのシール、男性、女性のシ

ールが貼ってあるトイレがある。この4階のトイレにはオレンジ色のシールで車椅子マークがついている。

誰もが使えるトイレが望ましいと思うが、ハード整備となると相当な金額がかかるため、建設部門と協議をしている。

生理の貧困に関する取組は全国的に広まりつつある。6次プランでも女性の自立と生活安定の支援の部分で引き続き取り組みを進めたい。

○委員

性犯罪や性暴力は増えているという話もある。女性の方からノーと言えなかつたり、強要することもいけないと本当に思っていなかつたりする意識の問題がある。これは教育の問題だと思う。暴力は良くないという教育をどのようにしていくのか。デートDVに関しても、具体的に形にして取り組めるといいと思う。

○事務局

人権教育の部分は担当課と連携して具体的な部分を詰めたい。

デートDVに関しては、ここ近年は市の新規採用職員研修の際に、男女共同参画の概念とデートDVに関する話を行っている。また、来年度の予算要求で、子どもたちに接する教職員や保護者を対象にした研修会を開催できるように要求しているほか、今年度の日向高校の課題型学習でデートDVの研究に取り組む班がある。富島高校の生徒にも人権講座の際にデートDVのパンフレットを配布した。実際の取組はこのような形で行っている。

○委員

デートDVの研修は具体的な計画があり、心強い。SOGI概念に関しても、セクハラ、マタハラなどすべて含めてSOGIハラに含まれるので、そういったことも関連付けてほしい。

○事務局

担当課と調整し、盛り込むかどうかを決定したい。

○委員

家族経営協定締結がどういうことなのかが分からない。

○事務局

農業に従事する家族構成員が対等に経営に参画するため、経営や報酬、労働時間や休日及び構成員の役割分担などを明記した協定のこと。5次プランでは用語解説をしていたので、6次プランでも用語解説に載せたい。

○委員

市民意識調査で「家族生活の場で男女が平等になっていると感じている市民の割合」が5年間で10ポイント近く落ちている。その原因はどういったことがあるだろうか。

○委員

今までは不平等と感じていなかった人たちが、様々な情報を得る中で「これは不平等ではないか」と気づいた割合が増えたのではないか。それだけ啓発が進んだとみることも必要ではと思う。

○委員

意識調査の対象の年齢層は同じなのか。

○事務局

人口比あたりの統計で行くので、高齢化も進んでいるし、5年前とすると年齢層は少し変わ

っている。

○委員

行政の方で慣習を変えるには、どういったことが可能だろうか。

○委員

慣習はなかなか変わらないものだが、これを変えなければならないと思うので、プランにはやはり入れてほしいと思う。新しい憲法になって家制度はなくなったはずだが、世帯主義もそこに起因していて、世帯主はほとんどが男性。先日、家族の戸籍謄本を取りに市役所に来た際、市職員が戸籍筆頭者（夫）のことを御主人様と言った。何の悪気もないと思うが、窓口であれば、戸籍筆頭者という言い方でいいと思う。そういったところからも少しずつ変えていけないか。

○委員

大きい災害が起きたとき、避難所が開設されるが、市職員の女性も被災者になることから、女性職員だけでは対応が難しくなる。そういう場合のために、女性消防団員をある程度増やしておかないといけないと思っている。消防本部や消防団に任せるのではなく、もっとトータルで女性消防団員を増やすことを考えてほしい。プランでも、もう少し強く推進してほしい。

○事務局

国も防災分野については力を入れていくこととしている。防災部門と消防団、消防署とも調整を行い、ご意見をできるだけ反映したい。

○委員

去年の台風の際、近所の方が新しい庁舎に避難しようとしたら断られた。こんなにきれいな庁舎があるのに避難できないとは、と怒られた。そういう市民の声もあったことを伝えたい。

○事務局

避難所が設定されている。市庁舎は避難所の対象になっていないと思うが、ご意見は担当課に伝えたい。

■ 事務連絡、その他

事務局から、次回の会議案内と「さんぴあ」で実施する男女共同参画講座、市が主催する女性活躍推進セミナー等の紹介を行った。

■ 閉会